

# 建築研究所 ニュース



平成18年 4月17日

安全・安心で快適な住宅・住環境の実現のために  
- 「ユニバーサルデザイン実験棟」が誕生 -

独立行政法人建築研究所（理事長：山内泰之）では、住宅や住環境における「ユニバーサルデザイン」「バリアフリーデザイン」「家庭内事故防止」「防犯」「避難シミュレーション」などの実験検証を行うことができる「ユニバーサルデザイン実験棟（愛称：安全安心ラボ）」を新たに整備しました。科学技術週間の一環として施設を一般公開し、広く一般の方に見学していただくと同時に、報道関係者に対して公開及び説明をいたします。

公開日 : 平成18年4月22日（土）  
公開場所 : 茨城県つくば市立原1番地 独立行政法人建築研究所  
施設一般公開 : 見学ツアーに参加していただき、ユニバーサルデザイン実験棟のほか3つの実験棟を見学していただきます。  
見学ツアーのコースはA B Cの3コースがあり、いずれのコースでもユニバーサルデザイン実験棟が見学できます。  
ツアー開始時間は 10:10～ 13:00～ 14:00～ の3回です。  
詳細は、建築研究所のホームページ([www.kenken.go.jp](http://www.kenken.go.jp))をご覧ください。  
報道関係者用公開時間 : 14:30～ ユニバーサルデザイン実験棟  
(一般の見学者と同時に公開します)

今、「安全で安心な建築・都市」が広く国民から求められています。(独)建築研究所では、これから3カ年の計画で「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」に取り組んでいきます。

この実験棟は、国内外の研究機関や大学等においてもほとんど類のない、災害発生時の群衆行動実験を行う大規模空間を有するなど、人間の行動を実際の空間内で再現し観測できる施設として整備されます。

また本実験棟を拠点とした、ユニバーサルサポーター制度の確立や産官学連携の共同研究体制の構築など、新たな仕組み作りにも取り組んでいきます。

## (内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所  
所属 建築生産研究グループ  
氏名 主任研究員 布田 健  
電話 029-864-6684 (直通)  
E-mail [k\\_nunota@kenken.go.jp](mailto:k_nunota@kenken.go.jp)



実験棟施設の例：勾配可変スロープ

写真は、ユニバーサルデザイン実験棟内の「勾配可変スロープ」です。

長さ約8m・幅員約2.5m、最大傾斜角約50度まで無段階で設定でき、舗装材等の仕上げ材を敷きその上に人が乗っても安全なように荷重の設計がされています。また装置の上に階段段板を乗せることで、階段実験用の装置にも応用できます。

今後、「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発（安全安心プロジェクト）」の中で、車いすを使用したスロープ実験や階段の安全性検証等のために役立てていきます。

なお、4月22日（土）の施設一般公開では、実験棟内で「ユニバーサルデザイン」や「防犯」の機器やパネルの展示、実験用ソフトのデモも併せて行います。